

# シンポジウム「これからの健康福祉を考える」

## 1 目的

これからの健康福祉社会のあり方について、地域をキーワードに、各分野で活躍されている方の意見を伺い、県民の皆様とともに考える。また、地域における実践例を紹介し、県民の皆様が身近な地域社会の担い手となっていただけるような契機とする。

## 2 日時

平成 22 年 3 月 24 日（水） 午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分

## 3 場所

愛知県芸術文化センター 12 階 アートスペース A

## 4 定員

250 名

## 5 概要

**基調講演** 『「長生きしてよかったと思える社会」をめざして』

大沢 勝 氏（愛知県社会福祉協議会長）

**特別講演** 「地域福祉でまちづくり」

森 貞述 氏（前高浜市長）

### シンポジウム

テーマ 「地域でみんなが幸せに暮らしていくために」

コーディネーター 大沢 勝 氏（愛知県社会福祉協議会長）

シンポジスト

今井 友乃 氏（NPO 法人知多地域成年後見センター事務局長）

「知多半島での権利擁護の相談支援事業を通して」

野口 定久 氏（日本福祉大学教授）

「地域福祉論の立場から」

柵木 充明 氏（愛知県医師会副会長）

「少子高齢社会における医療提供体制について～地域医療の再生に向けて～」

丸山 政子 氏（NPO 法人まめっこ理事長）

「商店街での子育て支援を通して」

## 6 広報

- ・ 市町村、社会福祉協議会、福祉事業所、NPO、老人クラブ、シルバー人材センター、各資格養成校、名古屋市内ファミリーマート各店舗等へチラシ配布
- ・ 広報あいちへの記事掲載、新聞各社への通知

## 事業所アンケートについて

新しい健康福祉ビジョン策定における課題を抽出するため、福祉事業所及び公共交通機関や小売店等を対象に、アンケート調査を実施

○ 調査時期：平成 22 年 2 月 15 日～平成 22 年 3 月 1 日

○ 調査方法：調査対象者へ調査票を郵送

回答は同封の返信用封筒による郵送またはファクシミリ

### I 福祉事業所におけるボランティア及び人材の状況について

#### 1 目的

福祉事業所におけるボランティアの活動状況・効果・受け入れ希望を把握し、地域の支え合いを進める方策を検討する基礎資料を得る。

あわせて、人材確保が課題となっている福祉事業所従事者の就職・離職に関する基礎資料を得る。

#### 2 調査対象

指定介護保険事業所 5,969 か所、指定障害福祉サービス事業所 1,645 か所

#### 3 主な調査項目

- ・ 事業所におけるボランティアの活動状況（内容、頻度、実施者等）
- ・ ボランティア受け入れの効果や課題、受け入れ希望の有無
- ・ 従事者の状況（正規／非正規別、常勤／非常勤別）
- ・ 職員の求人状況、離職状況

### II 地域における支援を必要とする人への対応状況について

#### 1 目的

誰もが暮らしやすい地域社会づくりを進めるため、地域全体で高齢者や障害のある人など支援が必要な方への理解を深めることができる方策を検討する基礎資料を得る。

#### 2 調査対象

(1) 公共交通機関 200 か所、金融機関 1,000 か所、小売店・飲食店等 1,291 か所

(2) 上記事業所で主に接客に従事する者

#### 3 主な調査項目

##### (1) 事業所

- ・ 対応で困ったこと、知りたいこと
- ・ 研修等の実施状況

##### (2) 従業員

- ・ 対応の経験の有無、困ったこと、知りたいこと、こころがけていること